２０２２年度　メリー★ポピンズ 成増ルーム　事業計画書

Ⅰ.基本方針

保育理念…「にんげん力。育てます。」
保育目標…「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

私たちが育てる６つの力
●怪我をしない体を育てる
●活動を選択し、自分で考えて行動する
●自分でできることを自分でする
●生死を知る「食の循環サイクル」
●感じた事、考えた事を表現する
●すべての人との関わりから判断、行動力を身に着ける

〈１〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	非認知能力を育み、伸ばしていく
	実践予定内容	目標を達成するための忍耐力や自己抑制のできる子、他者と協力するための社会性や折衝能力を高め、情動を抑制するための自尊心や自己肯定感を味わえる子を育てる。非認知能力についての学びを深める。
2	計画・ねらい	乳児保育の3つの視点を意識する
	実践予定内容	『健やかにのびのびと育つ』『身近な人と気持ちが通じ合う』『身近なものと関わり感性が育つ』観点から、個々の子どもを捉え生きる力を育む基盤を作る保育を展開する
3	計画・ねらい	保護者の心に入り込んだ接遇・保護者がいつ見ても気持ちが良い施設をつくる
	実践予定内容	東京都認証保育所としての役割を明確に捉えホスピタリティ精神を持って保育を行うべく、求められている地域のニーズを感じ取るようディスカッションを重ねていく。清掃を自分事として捉え身の回りのゴミを進んで拾う等の自主的に動く職員集団を目指す。

〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	園と家庭の共育てを行う
	実践予定内容	子どもを真ん中に保育者と保護者が手を取り合い支え一緒に子育てを行う。子どもに楽しいと思う体験、愛されている実感を感じ取れる環境を協力して作り上げる。
2	計画・ねらい	自園の強み・特徴を生かした園や子供の姿の記録と公開
	実践予定内容	アプリのタイムラインで保育を伝えポートフォリオで子どもの心情、意

		欲、態度を伝えていく。ブログでの保育の見える化を図る。
3	計画・ねらい	一人ひとりにあった離乳食を提供する
	実践予定内容	家庭との連絡を密に行い、発達に応じて適宜見極める。嚥下と咀嚼についての理解を深めここに応じて離乳食を進めていくアドバイスを行う。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域の子どもが遊ぶ場を提供する
	実践予定内容	子育てサロン、青空保育を、見学を通して子育ての悩みを受けたりしながら地域を支え、また支えられる関係を構築する。
2	計画・ねらい	子育ての情報を発信する
	実践予定内容	地域の方々に向けポスターを掲示し、地域の子育て世帯に参考になるような情報を発信していく（子どもに人気な献立など）。
3	計画・ねらい	一時預かり保育事業を積極的に行う
	実践予定内容	月極め保育の児と変わらない保育を提供し、集団生活を経験したり、保護者の用事またはリフレッシュにも安心して預けられる関係性を目指す。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	大人のにんげん力UP
	実践予定内容	一人ひとりの職員が描く10年後の姿の実現に向ける。チーム力を深めながら目標設定を自発的に行う意識を培う。
2	計画・ねらい	保育所保育指針を理解する
	実践予定内容	園会議の中で理解を深めディスカッションし、意識をした保育を展開する。
3	計画・ねらい	園内研修に積極的に取り組む
	実践予定内容	各々が課題意識を持ちながら学びそして共有する場を設け発表する。

〈5〉食材・食の循環を認知する直接体験

1	計画・ねらい	五感で畑を体験する
	実践予定内容	週に2回メリー★ポピンズ kids朝霞ルーム前畑にポピンズバスで向かい、種まき、水やり、収穫を通し野菜に対する興味を培う。土との触れ合いを楽しむ。
2	計画・ねらい	野菜の下処理を日常的に行い野菜に触れる
	実践予定内容	毎日扱う野菜に触れ、野菜の名前への興味を育み下処理（皮むき等）を行う。
3	計画・ねらい	堆肥作りを通し食の循環、環境への意識を身に着ける。
	実践予定内容	野菜くずなどを細かくちぎり、堆肥作りを行う。畑に実際に持っていきたい肥を活用した野菜の育成を行う。

〈6〉選ばれる園をつくる

1	計画・ねらい	認証保育所として地域の待機児童解消に努める
	実践予定内容	戸外活動時の地域子育て家庭への言葉掛けを通し、保護者、地域、自治体の方から愛されるよう各々ができる限りの働きかけを自発的に行う。また、定員に空き枠が出た際にはすぐに掲示し待機児童を入園に導く。
2	計画・ねらい	自園の強みを意識し、弱みを捉え課題意識を持ちアクションプランを立て実行する
	実践予定内容	自園の強みを一人ひとりが言葉にできると共に課題についての取り組みなどのディスカッションを重ね実行、振り返りを欠かさず行う。

2.施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	合計
6人	12人	12人	30人

〈2〉開所時間

7時００分～２０時００分

〈3〉スタッフ構成　(3月1日時点)

常勤スタッフ	保育士	6人	栄養士	1人
パートスタッフ	保育士	3人	補助	3人

3.運営方針

〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容

園会議	月1回120分	コンピテンシー、環境改善、研修報告、保育内容、保育所保育指針の深堀り、他社動向等。
給食運営会議	月1回	食物アレルギー対応、離乳食、給食環境、食育等。
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット、インシデント、事故記録簿の分析
ケース会議	月1回	要支援児について
担任週会議	週に1回	各クラスの子どもの姿共有、行事内容進捗確認等。

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	運営状況報告、コンピテンシー、確認事項、事故防止委員会等
施設長勉強会	月1回	子どもの姿、発達、マネジメント、事例ディスカッション、内部監査勉強会等
食育会議	年4回	献立改善と提案、マニュアル確認、見直し、食育計画
保健会議	年4回	感染症対策やガイドラインの作成、マニュアル確認・見直し、保健計画
子育ての質を上げる会議	月1回	子どもの姿、発達、事例ディスカッション等

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の汚染区域や清潔区域の管理、備品の管理
安全対策係	避難訓練や環境安全整備
防火管理者	自園の災害についての取り組み
食品衛生責任者	食育会議の計画、実践、食品の安全管理
畑係	年間農業計画遂行状況の確認、整備、種苗の発注
生き物係	生き物、植物に関する管理

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
各行事係	開催場所確保、事前準備、計画

4.保育方針

〈I〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	健康で気持ちよく過ごし､生活リズムが整う。 安定した生活の中で特定の保育者と心のつながりを深め､人や物 への関心が広がる。 身近な自然に触れながら､探索活動を楽しみ､様々な感覚が育つ
	下半期 0～I歳児	身近なおとなや､少し大きい子どもとの日常の中で､真似てみて学び取りながら一緒に過ごす心地よさや楽しさを味わう。 自然の中で体を使った遊びを通し､手足や全身の協応動作が巧み になり､いろいろな動きができることから｢やってみよう｣の気持ちが育っていく。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月とII月に実施予定

〈2〉年間行事計画

・２０２２年２月及び３月に開催の「年間計画策定会議第Ｉ回・第２回」にて決定し、別紙「２０２２年度年間スケジュール」に掲載
・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

I	計画・ねらい	食べさせるのではなく食らいつく意欲を育む。
	実践予定内容	充分な戸外活動で身体を動かしおなかが空く実感を味わう。 咀嚼力を育て素材の味を味わえる状態で提供する。

2	計画・ねらい	「いただきます」、「ごちそうさま」の習慣を身に着ける。
	実践予定内容	「いただきます」の意味を知り、食材への感謝、食事に関わってくれた人への　感謝の気持ちを育む。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	爪や頭髪の清潔点検、歯磨き習慣、基本的生活習慣の指導
流行が予測される感染症	通年･･･新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい･手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 6月頃･･･手足口病、ヘルパンギーナ 7月頃･･･アデノウイルス、プール熱 10月頃･･･マイコプラズマ肺炎、RSウイルス 11月頃･･･ノロウイルス、ロタウイルス 12月頃･･･溶連菌感染症 1月頃･･･インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	2021年度該当園児無し。
エピペン使用できるスタッフ	本日現在13名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員　名については4月1日までに受講予定
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。など各園で記載

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検チェック	年4回／4･7･10･1月の25日
	事故防止チェック	年4回／4･7･10･1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6･12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6･12月の25日

	情報セキュリティチェック	年2回／5･11月
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4･10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診　年2回／6･11月
運営管理	児童・保護者の人権に関するチェック	年2回／4･10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	子どもが遊びこめる環境を作る
	実践予定内容	職員全員でディスカッションし、子どもの環境を作り上げる。適宜振り返り再度検討し続ける。
2	計画・ねらい	安全な環境で遊べるべく充分な点検を行う。
	実践予定内容	毎日の消毒作業の際に点検を行い、破損場所、修繕を要する場所の確認を細やかに行う。
3	計画・ねらい	保育園全体を『大きな家』と捉える実践。
	実践予定内容	子どもの意思で自由に行き来ができるような環境を作り、見守れるゾーン保育を行う。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	おままごとキッチン	室内	毎日

５.危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	消防計画に基づき、自衛消防隊を編成、避難訓練・消防計画を行う。 定期的に火災・地震発 生時のマニュアルの読み合わせを行い、 避難方法の確認を行う。 災害時には対応フローチャートに従う。
2	実践予定内容	事故防止チェックリスト・設備点検チェックの実施。 怪我発生時は対応フローチャートに従う。 ヒヤリハット・インシデントの検証を行い、再発防止に努めその都度保育の見直しを行う。 また、職員間の共有を強化し、職員全員で共通意識をもつ。
3	実践予定内容	年２回の不審者侵入訓練の実施、笛の携帯の徹底。 あらゆる場合を想定し、職員間で連携し 対応できるようにする。 近隣園との不審者情報の共有や区からの情報収集に努める。
4	実践予定内容	光化学スモッグが発生しやすい気象条件・注意情報を把握し、発生時に迅速な対応をする。

６.実習生・中高生の受入

〈１〉今年度方針・テーマ

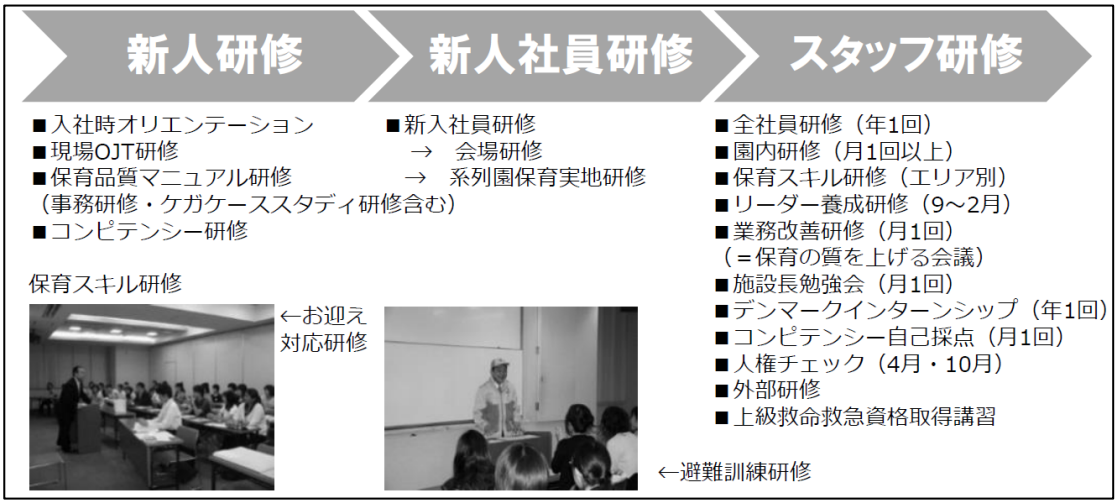
次世代を担う保育者の育成の為、保育者の仕事に興味や関心を持って貰えるように積極的に実習生や中高生の受け入れを行う。

1	実践予定内容	子どもたちと身近に触れ合う中で関わり方を学んでもらうようアドバイスを行う。
2	実践予定内容	日常の子どもの遊びの中で環境やどろんこ会の理念を伝えていく。
3	実践予定内容	わからないことがすぐに聞けるような風通しの良い関係を構築する。

７.スタッフ育成と研修計画

チームを感じてもらうべく各々の得意とする項目を意識し保育に当たる。
またそれを全職員が受け止めあい、年間を通してみんなで補いあえる関係性を目指す。
会議の場を大切にし、主にディスカッションをしながら意見を交換しあうことで、
子ども観の共有をし、多様に子どもを捉えていく根底を培う。
自己目標設定（MBO）を一人ひとりの職員に応じて設定し、課題についての計画、実行、振り返りを重ねて乗り越えていけるサイクルを作り上げる。

〈1〉２０２２年度 園内研修計画
（毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施）



開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月22日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 人 権チェック ③ 園内研修１（認証保育所の特性）	自身の保育振り返り、新入園児情報共有等。子どもの人権についてのチェックまたは振り返り等。
5月27日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修２（危機管理）	自身の保育振り返り、ディスカッション等。
6月24日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ③ 園内研修３（環境）	自身の保育振り返り、ディスカッション等。
7月29日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ④ 園内研修４（保健）	自身の保育振り返り、ディスカッション等。
8月26日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ② 園内研修５（食育）	自身の保育振り返り、ディスカッション等。
9月30日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修６(事故防止)	自身の保育振り返り、ディスカッション等。
10月28日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 人権チェック ③ 嘔吐処理ロールプレイ ④ 園内研修７（乳児保育）	自身の保育振り返り、事業計画振り返り、子どもの人権についてのチェックまたは振り返り、ディスカッション等。
11月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修８（保護者支援）	自身の保育振り返り、ディスカッション等。
12月30日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修９（子育て支援）	自身の保育振り返り、ディスカッション等。

1月27日	18:00～20:00	①　コンピテンシー自己採点 ②　園内研修１０ ③　エピペン研修	自身の保育振り返り、ディスカッション等。
2月17日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議１	次年度計画立案
3月5日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議２	次年度計画立案

〈２〉外部研修への出席

２～３月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

〈３〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
子育てスキル講座研修	別紙、「子育てスキル講座研修」チラシを参照											
全社員研修	９月に動画視聴にて実施予定（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
ﾃﾞﾝﾏｰｸｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ	希望するスタッフが応募											

〈４〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年１回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

８.地域交流計画

〈１〉今年度方針・テーマ

地域に開かれた拠点を目指し、保育の見える化を進める。戸外活動時などの挨拶を徹底し、親しみやすい関係性を構築する。

〈２〉具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月１回　　公園名：成増児童遊園にて
商店街ツアー	週１回
世代間交流	シンシアリハビリデイサービス成増2号店に月に１回訪問をする。
異年齢交流	地域の小・中・高生と交流をする機会を設ける。移動保育で法人内の園の3,4,5歳児との交流を定期的に行う。
地域拠点活動	ちきんえっぐ、青空保育の日程や内容が分かりやすいよう掲示を行う。

９.要支援児計画

〈１〉個別支援計画の作成・見直し

発達等気になる児童が在籍している場合は計画を立案する。

〈２〉毎月のケース会議開催

（４～３月に計１２回開催予定）
該当の場合実施。基本的に全員参加とするが、出席ができなかった職員は議事録を必ず確認する。

〈３〉進級引継、および、小学校への引継

該当の場合必要であれば実施

１０.子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	該当なし
子育て相談	（月）～（土）13:00～16:30
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育	月1回　　公園名：成増児童遊園にて開催

１１.園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

２０２２年４月２２日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。
自己評価開始予定時刻：８時00分
自己評価終了予定時刻：17時00分
自己評価実施予定者：朝重、菊地、堀内、山口、時田

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。
アンケート配布予定日：８月２５日

１２.3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	子どもについて深い学びを重ね、職員が一丸となり保育力の発信を行う。次世代を担うリーダーの育成
	振り返り	ブログを月に1度発信することで、保育についての自園の強みの把握に

		も繋がった。 また、自園を基礎とし系列園に幼児を学ぶ意欲のある職員の送り出しができた。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2022年度	目指す姿	職員が自身の課題を意識し、強みを把握することでできるチームの保育力の構築。自己マネジメントを行う力を身に着ける
	重点施策	自己目標設定を職員の能力に応じて行い、俯瞰的に自己に向き合える習慣を作る。
2023年度	目指す姿	東京都認証保育所の模範園となり公開保育を行う
	重点施策	今まで培ってきた自園の保育力の発信をすることで魅力を感じてもらい、また法人の魅力に繋がることで系列園の興味を持っていただく。
2024年度	目指す姿	自園自治に向け全ての職員が能動的に保育・園運営に取り組み、保護者や地域から選ばれる園になる。
	重点施策	子どもが目標を達成するために主体的に物事に取り組む中で、忍耐力や他者と協力するための社会性や、情動を抑制するための自尊心などを育める環境かつ、職員もtrial＆errorを恐れず様々なことに挑戦していけるような環境を作り上げる。

以上

作成日：2022年3月31日　　作成者：メリー★ポピンズ 成増ルーム 施設長　朝重 雅恵